

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：生田ルミナス保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：秦 枝里子	定員（利用人数）：60名（71名）
所在地：〒214-0034 川崎市多摩区三田1-7-7	
TEL：044-712-4471	ホームページ： https://www.yoikode.com/product/ikuta/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2020年 4月 1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 アイオル	
職員数	常勤職員：20名 非常勤職員：6名
専門職員	保育士 20名 栄養士（内管理栄養士） 3名（0名）
施設・設備の概要	乳児室（0～2歳児室） 3室 幼児室（3～5歳児室） 3室 沐浴室 2室 調理室 1室 事務室 1室 職員休憩室（更衣室） 1室 トイレ 8室 建物 RC造り3階建て 建物延床面積 596㎡ 園庭 154.52㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】 「子どもの『生きていける力』を育みます」 今だけを見るのではなく、子どもたちの未来を見据え、その子が大人になったときに、一人の人間としてしっかり生きていくことができるように、今できる最善の環境・体験を提供していきます。 ・コミュニケーション ～人と関われる～ ・主体性 ～自分で考えられる～ ・ブチキャリア ～好きを見つけられる～ 【保育方針】 「笑顔で接し、優しく語りかけ、認めて褒めて大きくする」
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】 生田ルミナス保育園は、令和2年（2020年）4月に開設し、4年目の保育園です。小田急線生田駅から徒歩2分に位置する3階建ての建物で、保護者にとって利便性の高い場所にあります。 0歳児から5歳児まで定員60名のところ71名が在籍しています。運営法人は株式会
--

社で、川崎市内に認可保育園4か所、川崎市認定保育園1か所、東京都に都認証保育園1か所を運営しています。

【園の特徴】

園では、法人の理念・人材理念・人材像、保育方針、保育目標等を記載した携帯用ハンドブック「アイオルbook」を職員全員に配布し、職員会議や研修時に周知を図っています。「アイオルbook」は、職種別・階層別に職員の目指すべき姿を示し、職員の道しるべとなっています。

保育園がビル内のため、屋上に人工芝を敷き詰め広場を作り園庭としています。子どもたちは、屋上から園舎横の階段を往来する人に声をかけたり、電車が見える場所に移動して手を振ったりしています。

毎月、サッカー遊び、英語遊び、ヒップホップ調のリズム遊び、リトミック遊び等のカリキュラムがあり、遊びを通して興味を持てる環境を整えています。

乳児保育・障がい児保育・延長保育を実施しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月1日（契約日）～ 2023年12月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一回（一年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 子どもの意欲を引き出す工夫

2歳児から当番活動を取り入れて、手伝う喜びや人前で発表する楽しさを味わえるようにしています。5歳児は、子どもたち自身で「こんな役割があったらいいね」と役割について話し合い、毎日の当番チェック表を作り全員が日替わりで様々な当番活動を行なっています。

3歳児から子ども会議を実施しています。職員は、子ども一人ひとりの表現しようとする意欲を大切にしながら、発表する充実感が味わえるように配慮しています。

散歩の行き先を決める場面では、3歳児では、職員は子ども会議での意見をひろって決めるようにし、4歳児では、職員も介入し最終的には多数決で決めています。5歳児では、子どもたちは意見を出し合い、決め方も話し合ったうえで散歩先を決めています。

2. 様々な機会を通じた家庭との連携と保護者支援

アイオルbookに、「ルミナス保育園は、保護者支援を大切にしています」と明記し、職員と保護者が協同してお互いを理解し合い、園と家庭が連携して、ともに子育てする関係づくりを柱にしています。保護者とは、朝夕の会話だけでなく、運動会や生活発表会等の行事、懇談会（年2回）、保育参加・個人面談（年2回）を通し、子どもの成長を共有しています。また、保護者用連絡アプリを活用して細やかなコミュニケーションを大切にしています。

3. 専門性や保育力向上への工夫

保育士全員が、年に1回当番で「園内研究保育」（年10数回）を開催し、自己の振り返りと課題を見つけ、職員会議で他者の意見を聞いて専門性や保育力の向上に取り組んでいます。また、姉妹園からの参加も得て、見本となる「公開保育」を年1回開催し、互いの専門性を磨いています。

4. 食事を楽しむ工夫

子どもが落ち着いて食べることができるように、食事の前にオルガンや電子ピアノ演奏で、楽しく食事をする雰囲気を作っています。

行事食は、絵本献立、世界献立、歌献立等の食文化を取り入れています。今年は歌献立を取り入れてメニューと歌を関連付けて、子どもたちが楽しく食事ができるようにしています。8月の献立は「スイカごはん」で、歌は「すいかの名産地」でした。今月の歌献立のメニューを玄関に掲示して保護者に知らせています。

◇今後期待される点

1. 苦情・相談等の公表とマニュアルの整備及び記録の蓄積

保護者からの苦情・相談・意見については、内容と対応結果について、公表することが望まれます。また、基本マニュアルに「クレーム対応」の記載はありますが、苦情・相談・意見を受け付けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等については定めがありません。マニュアルを整備するとともに、苦情だけでなく、保護者からの意見・要望等も記録として蓄積し、質の向上を図っていくことが望まれます。

2. ヒヤリハット事例の収集による事故の未然防止への取組

ヒヤリハット報告書を作成し事例も収集していますが僅少です。各種の報道や区役所、他園の事例等、より多くの事例や情報を収集し、事例検討や発生要因の分析等、園内外での事故を未然に防ぐ取組が望まれます。

3. 実施状況の評価が行なえる事業計画の策定と収支計画の作成を

中・長期の事業計画は、3～5年の経営課題や問題点の解決・改善を行なえるよう、具体的項目や達成時期・評価を行なえる数値目標を設定し、併せて計画に関する収支計画を作成することが望まれます。

また、単年度の事業計画においても、具体的項目ごとの達成状況を評価できる書式を検討するとともに、単年度の収支計画を作成することが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して4年目を迎え、初めて受審させていただきました。

今回、第三者評価を受審するにあたり、職員全体で細かい項目ごとで話し合いを重ね、評価する事で、子ども達・保護者の皆様・地域のために、私たちは何が出来るか別の視点で見直すことが出来ました。

不適切保育が騒がれている中で、些細なことでも不適切なのではないかと正直悩むことも多くありました。保育士としてどう関わっていったら良いか、保育や自分自身の言動を振り返り、職員間で話し合いを多く重ねてきました。

ルミナス保育園が目指す「子ども達の生きていける力を育む保育」「子育ての伴走者になれるような保護者支援」「地域から愛される園づくり」をもとに、保育園の在り方などを考えていく中で、職員全員が共通意識を持ち、チームワークの重要性を改めて感じる事ができたのも大変価値のあることだったと思っております。

また、保護者の皆様からのご意見も真摯に受け止め、今後も期待と信頼に応えられるよう努めていきたいと感じました。職員全員で改善に向け、より一層努力を重ね、保育の質の向上に努めてまいります。

最後になりましたが、今回の第三者評価受審に際し、ご尽力いただきました評価機関の皆様、ご多忙にも関わらず利用者評価にご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

子ども達・保護者の皆様・地域に寄り添う保育園づくりを目指していきたいと思います。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり